光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

トラスツズマブ+ゲムシタビン療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	乳癌		
開始年月日	年　　月　　日		
1 コース期間	21　日間		
体格	身長　　cm　　体重　　kg　　体表面積　　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	軽度	制吐剤	グラニセトロン注
特記事項	※【トラスツズマブ投与時間について】 初回 90 分、2 回目 60 分、3 回目以降は 30 分まで短縮可能 【トラスツズマブ投与量について】 投与予定日より 1 週間を超えた場合は初回量（8mg/kg）での投与を行う 【トラスツズマブ投与における心機能検査について】 心エコーを実施する（心疾患あり：6-8 週毎、心疾患なし：12 週毎）		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール		
			Day1	Day8	Day15
ゲムシタビン	mg（1250mg/㎡）	30 分	●	●	×
トラスツズマブ	初回　　mg（8mg/kg） 2 回目以降　　mg（6mg/kg）	※	●	×	×

【処方が必要な内服薬】

※初回のみ　　ジクロフェナク坐薬 25 ㎎　　トラスツズマブ開始 30 分前
※2 回目以降必要時　　カロナール（200）2 錠　発熱時

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(−) → □HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → □HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿